

令和5年4月14日（金）



4月7日（金）に、新たに4名の教職員を迎えての始業式となりました。職員数も少ない中、ほぼ半数が新任者です。

校長から、新任の先生方を紹介した最後に、子どもたちに、「新しい人との出会いは、新しい自分と出会えるチャンスです。今年度の1年間で、新しくいらした先生方と一緒にたくさんのお話を聞いて、自分の成長につなげてください。」と伝えました。新任の先生方には、春風と共に手ノ子小に新風を吹き込んでほしいと思います。

始業式の校長の話では、まず、昨年度と比べて、グラウンドの雪解けがずいぶん早く、学校の周りでも春を感じられる草花や生き物がいることをクイズで伝えました。そして、4月からはマスクを外して学校生活を送られることを確認し、五感を使ってたくさん春を感じてほしいと呼びかけました。

次に、令和8年度に向けて、飯豊町の新しい教育がスタートすること、4・5・6年生は義務教育学校の7・8・9年生になること、1年生は西校舎の最高学年である4年生になることを確認しました。そして、第一小、第二小、添川小の仲間とよりよい学校をつくるスタートの年なので、学校の合言葉の【あ】あきらめない、【い】いのちを大切に、【う】美しい心、【え】笑顔であいさつ、【お】思いやりをこれまで以上に大切にしようと呼びかけました。そして、今年度から飯豊町内の小中学校と一緒に取り組むグランドデザイン推進の内容を説明しました。

最後に、今年、創立150周年記念式典が、11月4日（土）に行われることを確認し、今年度のクラブ活動で取り組む獅子舞を、お祝いに発表できるという願いを伝え、他、学校として予定している記念事業を紹介しました。

令和5年5月1日(月)



コロナの制限が緩和され、大型連休のニュースで盛り上がる中、本校学区の白川ダム湖水没林も見ごろを迎え、学校前の道路もいつも以上に交通量が多くなっています。

そのような中、昨日4月30日(日)の午後から、授業参観とPTA総会を無事に実施することができました。お忙しい中、多くの保護者の皆さんにご来校いただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

さて、本日5月1日は、本校の150歳の誕生日なのですが、11月4日(土)に創立150周年記念式典を盛大に開催すべく、後援会を母体にした創立150周年記念事業実行委員会で準備を進めているところです。学校とPTAは記念

事業部として、記念事業と記念品、会計を担当しています。記念事業の第一弾として、本日の創立記念日に向けて横断幕を作成し、昨日のPTA総会前にささやかながら「掲揚セレモニー」を開きました。

完成した横断幕をお披露目する前に、PTA会長さんからは、手ノ子小学校が開校する150年前は、福沢諭吉の「学問のすすめ」が刊行された頃で、江戸から明治に時代が大きく変わった時期だということをお話していただきました。

校長からは、横断幕に掲げてある校章が、羽越水害があった昭和42年に制定されたこと、外側のオレンジ色の3つの三角は、飯豊、吾妻、朝日の山々を表していること、黄色の3本の折れ線は、清流の置賜白川を表していること、白い「小」の字の周りの六角形は1年生から6年生を表しており、緑色は田園を表していること、当時の全校生は11クラスの254名、入学児童も35名おり、白鷹町の荒砥小学校や小国町の小国小学校の同規模の、飯豊町の中心校だったことを伝えました。

現在は2・3年生がいない全校複式2クラス15名の少人数ですが、150周年記念式典のオープニングとして披露すべく、地域の方々にご協力をいただきながら獅子舞をクラブ活動で頑張って取り組んでほしいと思います。



令和5年5月19日（金）



昨日、祖父母学級授業参観・総会を実施することができました。授業参観では、1・4年生、5・6年生の両クラスとも、国語科の複式授業を参観していただきました。

また、総会では、校長からは、冒頭の挨拶時にお時間を頂戴して、今年度の学校経営についての説明させていただきました。

具体的には、令和8年度に向けて、飯豊町の新しい教育がスタートすること、現在の4・5・6年生は義務教育学校の7・8・9年生になり、現在の1年生は西校舎の最高学年である4年生になることを伝えました。

そして、幼小中一貫教育を推進するために、今年度の重点目標である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の具体的な取組の中で、飯豊町内の小中学校と一緒に取り組むことについて伝えました。

その他、祖父母学級の皆様へのご協力をお願いを二つ、お知らせを一つ伝えました。

一つ目は、大雨による災害発生時の下校体制について伝えした後、それに関連して実施する5月30日（火）の防災教室を、祖父母学級研修会を兼ねて実施させていただきたいということをお願いしました。

二つ目は、教職員の働き方改革について伝えした後、毎週水曜日と木曜日の給食指導と清掃指導の分担から担任と教頭を外すため、給食を全校での「なかよし給食」とし、水曜日の清掃をボランティアとして協力していただきたいということをお願いしました。

最後にお知らせとして、創立150周年記念事業実行委員会を組織し、学校・PTAは記念事業と記念品を担当していることを伝えました。そして、手ノ子八幡神社獅子連中に年間6回のクラブ活動のご指導をお願いし、11月4日（土）の記念式典のオープニングで披露する予定であることも伝えました。

令和5年5月23日（火）



本日の3校時目に、公益社団法人長井法人会女性部会の副部長さん方と事務局長さんにご来校いただき、6年生の租税教室を開きました。

最初に副部長さんは、「みなさんはどんな税金を知っていますか」と子どもたちに質問されました。子どもたちは、「消費税」、「所得税」、「住民税」、「法人税」までは答えられましたが、その他の税は思いつかず、副部長さんに、「酒税」「たばこ税」「ガソリン税」「自動車税」など様々な税金があることを教えていただきました。

また、日本では、69兆円が1年間に納税されていることを、感覚的に分かりやすく教えていただきました。子どもたちは、69兆は69に0が12個つくことを知り、また、1億円のお札の束のレプリカを実際に持たせていただいた後、69兆円は1億円のレプリカ69万個分で、並べると690kmにもなるということを知って驚いていました。

次に、税金が使われている物かどうかを、カードで子どもたちが仕分けをしていきました。学校や交番、消防署等を「公共」と言って、みんなが平等に利用する施設だということを知っていただきました。もし税金を使わないで小学校に通学すると、授業料は月7万円も納める必要があり、子どもたちが勉強するために多くの人の税金が使われていることを、教科書の無償化を例に教えていただきました。子どもたちは、「もう少し負担を減らしてほしいけれど、税金はあった方がいい」とつぶやいていました。

最後に、「マリンとヤマトの不思議な日曜日」という税金に関するアニメ動画を見せていただいた後、信号機1基200万円、救急車2600万円、はしご車1億6千万円、防災ヘリ16億円等、生活に欠かせない多くの物は個人では購入できないくらい高価なものであること、だからこそ、会費としてみんなが税金を納め、そのお金で購入されているということを知っていただきました。



令和5年5月29日（月）



5月26日（金）に、全校遠足を実施しました。当日は曇りの空模様で、日差しも柔らかく、丁度よい遠足日和でした。今年度は白川荘から歩き始め、中津川宇津沢地区を歩いて旧中津川小中学校に行き、そこで昼食をとりました。その後、源流の森まで（1年生は中津川地区公民館まで）歩いて、総行程約8キロメートル（1年生は約5キロメートル）の散策コースを楽しみました。

途中、飯豊町体験農園サポートセンターで中津川のどぶろく造りや中津川バイオマス（株）で豊富な天然資源である木材を活用したおが粉・ペレット等の製品の製造工程についてご説明をいただきました。どちらもとても温かく受け入れていただき、子どもたちにもわかりやすく丁寧なご説明をいただきました。

途中、飯豊山を眺めたり、カエルの鳴き声に耳を澄ましたり、道端でヤゴから羽化したばかりのトンボに見入ったりするなど、五感を使って自然を体感しながら歩いて行きました。いつの間にか歌声が聞こえるようになり、最後まで途切れることなく歩き通した子どもたちの様子からも、遠足を楽しんでいたことが伝わってきました。